

お電話、Eメールでも申込みできます。
(連絡先は先頭ページに記載)



ふるさと江別塾参加申込書<FAX用紙>

受講希望講義に○を付けてください。(複数可)

第1回 10月3日 (土)	<input type="checkbox"/> 講義 1 妄想旅行を楽しもう! ~韓国絶品グルメ編~ <input type="checkbox"/> 講義 2 身近なセキュリティ事例と技術
第2回 10月17日 (土)	<input type="checkbox"/> 講義 1 「子ども食堂・地域食堂×北翔大学」の立ち上げ方 <input type="checkbox"/> 講義 2 ふと気が付いたら満員御礼! 地域の居場所のススメ方
第3回 10月24日 (土)	<input type="checkbox"/> 講義 1 “2030Agenda” and “COVID-19” <input type="checkbox"/> 講義 2 江別らしい緑地を育てるには
第4回 10月31日 (土)	<input type="checkbox"/> 講義 1 乳児の声がコトバになるまでの道のり <input type="checkbox"/> 講義 2 分裂する「資本主義」像

※全講義を希望される方は全てに○をお書きください。※申込書に記入いただいた個人情報は本事業以外には利用いたしません。

お申込日	月 日	「えべつ市民カレッジ手帳」をご希望の方は○をご記入ください(後日郵送します)					
フリガナ		<えべつ市民カレッジ生のみ>					
お名前		学生番号をご記入ください					
ご住所	〒 -	えべつ市民カレッジ生の申し込みはされましたか? カレッジ生は「えべつ市民カレッジ手帳」を持ち、受講時にもらえるシールを貼ることで、自分がいつ、どんな講座を受講していたのか記録できます。 受講シールが一定の数以上になると、その数に応じて、修了証(学位)を市長から受けることができます。					
電話番号	() -	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">手帳希望の方のみ</td> <td>生年月日</td> <td>大正・昭和・平成・西暦 年 月 日生 (歳)</td> </tr> <tr> <td>Eメール アドレス</td> <td><記入なしでも可></td> </tr> </table>	手帳希望の方のみ	生年月日	大正・昭和・平成・西暦 年 月 日生 (歳)	Eメール アドレス	<記入なしでも可>
手帳希望の方のみ	生年月日	大正・昭和・平成・西暦 年 月 日生 (歳)					
	Eメール アドレス	<記入なしでも可>					

申込書送信先/江別市教育委員会生涯学習課(〒067-0074 江別市高砂町 24-6)

FAX 011-382-3434

ご来場の皆さまへ注意事項とご協力をお願い (新型コロナウイルス対策について)

開催にあたっては、室内を定期的に換気し、受講者同士が距離を確保できるレイアウトにするなど、各種対策を講じた上で実施いたします。

来場の皆さまにおかれましても、下記項目のご理解ご協力をお願い申し上げます。

- 発熱、咳、全身痛等の自覚症状がある場合、体調がすぐれない場合は、参加をお控えください。
- マスク着用などの咳エチケットを徹底してください。
- 入退室の際は、手洗いまたは手指の消毒を行ってください。※受付に消毒用アルコールを設置します。
- 受付(入口)で検温を実施させていただきますのでご協力ください。



—えべつ市民カレッジ(道民カレッジ連携講座)—

2020「ふるさと江別塾」

市民の皆さんの高い知的欲求に応えることができるよう、市と市内四大学の連携協力により、大学が保有する専門的知識と人材を活用して、充実した学習機会場の場として、「ふるさと江別塾」を開講します。人生を実り多い豊かなものにしていくために「ふるさと江別塾」を活用してみたいはかがですか。

各回定員50名・受講料無料です。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更・中止になる場合があります。

第1回

10月3日(土)

開講式 9:15~9:30

講義1 9:30~11:00

講義2 11:10~12:40

北海道情報大学

会場/校舎棟2号館211教室

妄想旅行を楽しもう!~韓国絶品グルメ編~

情報メディア学部 情報メディア学科 准教授 金 銀珠

身近なセキュリティ事例と技術

情報メディア学部 情報メディア学科 准教授 福光 正幸

第2回

10月17日(土)

講義1 9:30~11:00

講義2 11:10~12:40

北翔大学

会場/7号棟723教室

「子ども食堂・地域食堂×北翔大学」の立ち上げ方

生涯スポーツ学部 教授 尾形 良子

ふと気が付いたら満員御礼!地域の居場所のススメ方

生涯スポーツ学部 講師 岩本 希

第3回

10月24日(土)

講義1 9:30~11:00

講義2 11:10~12:40

酪農学園大学

会場/C1号館101教室

“2030Agenda” and “COVID-19” (「持続可能な開発のための2030アジェンダ」と新型コロナウイルス)

農食環境学群 環境共生学類 准教授 吉中 厚裕

江別らしい緑地を育てるには

農食環境学群 環境共生学類 准教授 松山 周平

第4回

10月31日(土)

講義1 9:10~10:40

講義2 10:50~12:20

閉講式 12:20~13:00

市民カレッジ学位授与式

札幌学院大学

会場/B館1階B102教室

乳児の声がかつたくなるまでの道のり

人文学部 准教授 鈴木 健太郎

分裂する「資本主義」像

経済学部 准教授 浅川 雅己

※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

※えべつ市民カレッジ受講シールは、1講義ごとにお渡しします。

※道民カレッジ生の受講は各回(2講義)ごとに教養3単位を認定します。

※全4回(8講義)講座の受講者には閉講式で修了証をお渡しします。

<主催>

江別市・江別市教育委員会

お申込みは江別市教育委員会生涯学習課(江別市高砂町24-6)

TEL 381-1062 FAX 382-3434

e-mail: shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

<講義内容>

第1回 10月 3日(土)

北海道情報大学

江別市西野幌59番地2

電話011-385-4427

会場/校舎棟2号館211教室

講義
1

9:30~11:00

妄想旅行を楽しもう!~韓国絶品グルメ編~

情報メディア学部 情報メディア学科 准教授 金 銀珠



【講義内容】本講座では、これだけは絶対に外せない本場韓国の激ウマ料理を、文化や習慣を交えながら一挙にご紹介します。韓国旅行気分を味わいたい方や韓国旅行を計画されている方は、ぜひお越しください。また、覚えておくと便利な、外食先で使える韓国語フレーズもあわせてご紹介いたしますので、ぜひ参考にしてみてください。

【プロフィール】韓国大邱市生まれ。2005年日本大学法学部経営法学科卒業。2007年北海道大学大学院国際広報メディア研究科修士課程修了。2010年北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院博士後期課程修了。2010年~2012年北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院助教。2012年~2017年北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院 研究員。現在、北海道情報大学情報メディア学部 准教授。専門分野 日韓対照言語学、日本語学。

講義
2

11:10~12:40

身近なセキュリティ事例と技術

情報メディア学部 情報メディア学科 准教授 福光 正幸



【講義内容】キャッシュレス決済や新型コロナウイルス接触確認アプリなど様々な技術があるなか、架空請求詐欺やインターネットトラブルなどは後を絶ちません。また、スマートフォンなどにまつわるプライバシーやセキュリティに関する心配は絶えないものかと思われます。そこで、本講座では、最近のセキュリティ動向や技術について学んでいきます。

【プロフィール】宮城県仙台市出身。2009年3月岩手県立大学ソフトウェア情報学部卒業。2014年3月東北大学大学院情報科学研究科博士課程後期3年の課程修了、博士(情報学科)の学位を取得。2014年4月北海道情報大学情報メディア学部着任。現在は同大学同学部並びに大学院経営情報学研究科准教授。研究領域:暗号理論、情報セキュリティ。IACR(International Association for Cryptologic Research)、電子情報通信学会、情報処理学会に所属。

第2回 10月17日(土)

北翔大学

江別市文京台23番地

電話011-387-3939(地域連携センター)

会場/7号棟723教室

講義
1

9:30~11:00

「子ども食堂・地域食堂×北翔大学」の立ち上げ方

生涯スポーツ学部 教授 尾形 良子



【講義内容】2017年度から開始した「子ども食堂・地域食堂×北翔大学」の立ち上げについてお話しします。今から考えると「よくできたな」と感じるほど、新しく何かを始めるのは困難なものです。どのように動機づけを得て、周囲を説得し、準備して来たのか。実は思いつきがすべてと言っても過言ではありませんでした。「思いつきは成功の母」とでも言いたいくらいです。そして大学にこもっていた教員の私たちの地域デビュー。七転八倒のストーリーです。

【プロフィール】道外の福祉系大学卒業後、社会福祉法人等で約20年勤務しました。その後道内の大学院を修了し、社会福祉士養成教育の仕事に携わり始めることに。直前に勤務していた社会福祉法人では現場(病院や施設)希望だと伝えたにもかかわらず、退職者がいたからと事務職になってしまいました。ここで年1回、2千人規模のイベントや広報担当をしていたことが、まさかの子ども食堂・地域食堂の立ち上げの力となりました。人生何が幸いするか分からないものです。

講義
2

11:10~12:40

ふと気が付いたら満員御礼!地域の居場所のススメ方

生涯スポーツ学部 講師 岩本 希



【講義内容】地域の居場所の需要は確実にあります。しかし、「なかなか参加者が増えない」という課題を抱える活動団体も少なくありません。なぜでしょうか?せっかく活動するのなら、たくさんの人に知ってもらい、集まって一緒に楽しい時間を過ごしたいですね。子ども食堂や地域食堂などの居場所づくり活動は、立ち上げた後、「いかに広め、継続していくか?」がポイントです。人が集まる「居場所」にはどのような仕掛けがあるのか?実はとってもカンタンです。実際の雰囲気を感じてもらいながらお教えします!一緒に居場所づくりをススメましょう。

【プロフィール】2011年3月北星学園大学社会福祉学部を卒業後、同年4月より北星学園大学大学院社会福祉学研究科(修士課程)へ進学。その後同大学の福祉実習助手として勤め、2017年度から北翔大学生涯スポーツ学部健康福祉学科に所属。社会福祉士の資格を持ち、コミュニティワーク実習やソーシャルワーク関連科目、国家試験対策などを担当。学生時代から長年地元の町内会活動に参加してきた経験を活かし、地域活動に精を出す。北翔大学で子ども食堂・地域食堂などを運営する「居場所づくり支援 研究・実践グループ」代表。



えべつ市民カレッジ(道民カレッジ連携講座)

2020「ふるさと江別塾」

第3回 10月24日(土)

酪農学園大学

江別市文京台緑町582番地

電話011-388-4131(社会連携センター地域連携課)

会場/C1号館101教室

講義
1

9:30~11:00

“2030Agenda” and “COVID-19” (「持続可能な開発のための2030アジェンダ」と新型コロナウイルス)

農食環境学群 環境共生学類 准教授 吉中 厚裕



【講義内容】「われわれの世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が国連サミットで合意されて5年過ぎました。「持続可能でよい世界」「誰一人取り残さない社会」を2030年までに実現するために世界を「変革」しようという目標達成に向けた進捗状況はどうなっているのでしょうか？新型コロナウイルスの世界的大流行はその追い風となっているのでしょうか？それとも強い逆風？そんなことを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

【プロフィール】京都大学理学部人類進化論講座卒業、北海道大学大学院環境科学研究科修士課程修了。パークレンジャーとして各地の国立公園(阿寒、利尻礼文サロベツ、釧路湿原、知床等)で勤務。カナダ北方森林研究所客員研究員、在ケニア日本国大使館一等書記官・国際連合日本政府常駐副代表、環境省釧路自然環境事務所次長、環境省地球環境局調査官、国際連合生物多様性条約事務局地球規模調整部長などを経て、2017年から現職。

講義
2

11:10~12:40

江別らしい緑地を育てるには

農食環境学群 環境共生学類 准教授 松山 周平



【講義内容】昨年、JR野幌駅の北東に野幌中央緑地が整備されました。野幌中央緑地の整備では「江別らしい緑地」にすることを目指して、実はいろいろな準備・取り組みが行われました。また、緑地はこれで完成ではなく、今後も手入れをしながら「江別らしい緑地」に育てていく計画になっています。本講義では、野幌中央緑地の整備に関するこれまでの取り組みを紹介します。そして、これまでの取り組み再評価し、「江別らしい緑地」に育てていくために有効だと思われることをお話しします。

【プロフィール】石川県金沢市出身。2002年京都大学農学部生産環境科学科卒。2004年京都大学大学院農学研究科森林科学専攻修士課程修了。2009年京都大学大学院農学研究科博士課程修了。2009年大阪市立大学単位取得退学。2009年大阪市立大学理学研究科 研究員。2010年大阪市立大学理学研究科 博士研究員。2011年京都大学フィールド科学教育研究センター 特定研究員。2014年大阪市立大学理学研究科 博士研究員。2015年酪農学園大学農食環境学群 講師。2018年酪農学園大学農食環境学群 准教授(環境植物学研究室)

第4回 10月31日(土)

札幌学院大学

江別市文京台11番地

電話011-386-8113

会場/B館1階B102教室

講義
1

9:10~10:40

乳児の声がコトバになるまでの道のり

人文学部 准教授 鈴木 健太郎



【講義内容】乳児が発する音声は、意味のない音からやがて言葉へと変わっていきます。この子どもに言葉の力がそなわるまでの不思議な道のりを詳しく描くとしたら、どのようなことを描き入れればよいのでしょうか。子ども自身の声ばかりでなく、表情や体を使った感情の表出、手指や足をつかった運動、おもちゃなどの手にふれるモノとのかかわり方、身近な人とかかわり方など、この時期に一緒に変わっていく事柄に目を配りつつ、言葉が生まれる不思議について考えてみたいと思います。

【プロフィール】東京都出身。1998年、早稲田大学大学院人間科学研究科単位取得満期退学。2000年、博士(人間科学)取得。早稲田大学人間科学部を経て、2001年より札幌学院大学に勤務。最近の研究テーマは、乳幼児の言語獲得、行為の発達、子どもの体験を伴う学習の過程など。

講義
2

10:50~12:20

分裂する「資本主義」像

経済学部 准教授 浅川 雅己



【講義内容】現代社会の経済的な仕組みは、「資本主義」と呼ばれます。最近、様々なメディアに色々な「〇〇資本主義」論が盛んに登場するなど、「資本主義」への関心が高まっています。ところが、それぞれの理論的立場から様々な「資本主義」像が提示され、「『資本主義』とは何か」がかえって分かりにくくなっています。実は、この状況にこそ資本主義の特徴や行く末を理解する鍵が潜んでいます。この〈分裂〉の理由を探ることで「資本主義」の特徴やその行く末について考えていきたいと思っています。

【プロフィール】埼玉県出身。1990年、東京経済大学経済学研究科修士課程修了。2003年より、札幌学院大学経済学部勤務。主な担当科目は、環境経済論、政治経済論Ⅰ・Ⅱ。研究テーマは、環境破壊、性差別、福祉破綻と資本主義経済の関連の研究。現代資本主義特有の諸問題を解決するための取り組みから生まれつつある新しいアソシエーション的な生産様式・生活様式の研究。